

1

月号
平成14年【2002】
No. 761

県民の友

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1 ☎073 (432) 4111 <http://www.wakayama.go.jp/>

発行/和歌山県知事公室広報室

主な記事

- 2～3面 あいさつ、県文化表彰
県工業技術センター特集
- 4～5面 体験観光特集
- 6～7面 お知らせ/時和連載
- 8面 わかやま北南NEWS

感動体験！ 和歌山の遊び方

旅人が主人公となって自ら感動を見つける旅。まるで「ふるさと」にかえってきたように感じる旅。和歌山県には、そんな旅にふさわしい舞台がたくさんあります。

私たちの美しく豊かな大自然、地域の文化と歴史を「体験する」、地元の人たちの交流を通して出来るだけありのままに体験する。それは、今までの観光に「体験する」という魅力が加わった新しい光の観光です。

2002年

旅の楽しみ方がひとつ、増えました。



新春メッセージ



新年あけましておめでとうございます。
早いもので、県事に就任して1年余りが過ぎました。県内を回ってつくづく感じるのは、「自然」と「心の癒し」が求められている。私たちの和歌山県は本当に魅力いっぱい土地だということです。海、山、川、川の大自然があります。世界遺産登録をめざす高野・熊野など奥深い歴史・文化があります。新鮮な食材があります。温かな人情があります。今まさに地方の時代であり、地域間競争の時代です。私たちは、このすばらしい財産をもう一度見つめ直し、これを活かす努力をしなければなりません。そうすることで、観光面はもちろんのこと、起業を志す人や自然と向き合う産業を担い手が県外からも集まってくる、あるいは地元企業が新しい事業を展開するなど、必ず県経済の活性化につながっていくはずです。

県として、高速道路等の交通基盤や情報基盤の整備をさらに進めると同時に、「和歌山発」といえる独創的な施策を一つでも多く打ち出していきたいと思います。どうか県民の皆さんも、ふるさと和歌山がますます活気づくよう、いっしょにがんばりましょう。

和歌山県知事 木村 良樹

年頭のごあいさつ



新年あけましておめでとうございます。

県民の皆様には、お慶びやかたに新春をお迎えること心から喜び申し上げます。

昨年、本県にとって、「紀伊山地の霊場と参詣道」がユネスコ世界遺産暫定リストに登録されたところであり、世界遺産登録に向けて大きく前進した年でありました。

また、朝の連続テレビドラマ「ぼんまゐり」によって、全国に本県の良さを紹介していただいております。県内市町村と連携しながら県の魅力を強力にアピールしているところでございます。

県議会におきましても、現下の厳しい社会経済状況の中ではありますが、新しい試みと斬新な発想をもって、時代の潮流に即応した施策を推進し、世界に開かれた新生和歌山県の創造に最善を尽くす決意でございます。

年頭にあたり、県民の皆様のご多幸をお祈りいたしますとともに、県議会に対する一層のご理解ご支援をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

和歌山県議会議長 井出 益弘

技術で“ものづくり”をバックアップ

県工業技術センター



“ものづくり(製造業)”を支え、発展させるのは「技術」です。

「安くて良質なもの」はもちろん、「ひと味違ったもの」、「これまでなかったもの」が強く求められる今、創造性豊かな新しい「技術」の重要性は、ますます高まっています。

そうした中、県工業技術センター(以下、「センター」)では、地域産業の中核的研究施設として、県内企業の技術力・研究開発力の向上のため、さまざまな業務を行っています。

平成9年度に、施設や設備の新設・充実、組織の改正によって機能強化を図った「センター」その業務の概要と成果・実績の一端をご紹介します。

業務内容

研究会等の開催

各種研修会、講習会、研究会等を開催しています。

研修生受け入れ

県内企業等から工業に関する技術及び知識を習得しようとする方を受け入れています。

研究開発

県内産業の技術ニーズに応じた幅広い研究を行うとともに、その成果の普及に努めています。

特に、進展する技術革新に対応するため、大学・企業との「産学官共同研究」、地域の企業との「共同研究」、企業からの研究委託を受け行う「受託研究」を積極的に進めています。

試験分析

企業からの依頼により製品や材料の各種試験・分析を行い、試験成績書を発行します。

技術指導・相談

企業が抱える技術上の様々な問題について、相談・指導に応じています。

また、問題解決を効果的に行うために、中小企業の生産現場に出向き、実際に即した技術指導を行います。

各部署と担当業務

企画調整部	技術情報の収集・閲覧・提供、技術情報誌の発行、特許管理
生産産業部	繊維染色・食品工学を担当
材料技術部	木質材料・高分子材料・金属無機材料を担当
化学技術部	精密化学・分析化学・環境技術を担当
システム技術部	機械システム・電子システムを担当
漆器研究開発室	漆器技術を担当
皮革分庫	皮革技術を担当
デザインセンター	デザインを担当

活動実績

内 容	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度 (見込み)
受託研究・共同研究	20	22	23	19
製品や材料の試験・分析	6744	7704	9716	9000
技術指導・相談	6984	7038	6292	6850
研究会等の開催	45	55	71	80
研修生の受け入れ	17	28	45	40

(参考) これまでに特許取得したもの約28件(うち単独5件、共有23件、国際特許17件)、特許出願中のものが78件となっている。



平成13年度 和歌山県文化表彰

文化の向上発展に顕著な功績のある個人又は団体として次の方々を表彰しました。(敬称略)

文化賞



辻原 登
(つじはら のぼる)
[本名 村上 博]
作家
昭和20年12月15日生
印南町出身
神奈川県横浜市在住

平成2年に「村の名前」で第103回井川賞、平成11年に「輝く麒麟」で第50回読売文学賞、平成12年に「運動学円木」で第36回谷崎潤一郎賞を受賞されている。

文化功労賞



中野 榮治
(なかの えいじ)
歴史地理学研究者
大正14年11月1日生
高野1町出身
和歌山市在住



奥村 彪生
(おくむら およお)
伝承料理研究家
昭和12年10月12日生
すみ町出身
奈良県香芝市在住



土井 汲泉
(どい きゅうせん)
[本名 土井 康弘]
書家
昭和22年10月1日生
田辺市出身
大阪府太子町在住



天童よしみ
(てんどう よしみ)
[本名 吉田 秀美]
歌手
昭和29年9月26日生
田辺市出身
大阪府八尾市在住



米山 詔介
(よねやま りゅうすけ)
音楽家
昭和28年7月13日生
東京都出身
岩出町在住

三輪崎郷土芸能保存会

(みわさききょうとうげいのうばんかい)
昭和48年創立/県指定無形民俗文化財保持団体/新宮市所在



岡田 克克
(おかだ ながかつ)
[本名 岡田 繁]
華道家
昭和14年5月29日生
和歌山市出身
和歌山市在住

技術開発の事例紹介

全国1位の生産量を誇る和歌山の丸堀川ニット。しかし、安価な輸入ニット製品の急増により、製品の差別化や企画力の強化が求められる中、「センチター」では、これまでの技術では出せなかった柄の生地を開発・成功しました(特許出願中)。

「フラッシュニット」とも呼ばれるこの生地の特長は、生地を構成するループ(輪)の大きさを変化させることによって、ハケではいたらない微妙にぼかした柄が出せることです。

既に、ニューヨークや東京で開催された見本市に出展し好評を博しています。今後、地元ニット業界では、デザインとの多様化を図り、和歌山ブランド製品として広く世界市場に展開する予定です。



新しいニット生地 『フラッシュニット』誕生!



2色糸による通常のニット生地



フラッシュニット

企業インタビュー 宮城ケミカル株式会社 ペットボトルから 新品プラスチック原料を再生



「センチター」と共同開発した技術(特許取得)をもとに、ペットボトルのリサイクルを事業化している「宮城ケミカル株式会社」で、善後取締役の宮本博行さんに、「センチター」との関わりなどについてお話をいただきました。

「ペットボトルを熱で溶かす通常のリサイクル方法では、再利用されたものはリサイクルができず、約30%が再活用されずに残ってしまいます。しかし、「センチター」と開発した方法なら、ほぼ100%、それも製品樹脂と同等の強度・成形性がある価値の高いプラスチック樹脂へと再生でき、既にベンチや合併浄化槽等いろいろな製品の原料として使われています。

「センチター」とは30年ほどのお付き合いになりますが、今も技術的なサポートをお願いしています。「センチター」にはさまざまな分野の専門知識と設備があります。県内企業の方、もっと気軽に「ものづくり」について相談してみたいかたがどうでしょう。」

技術開発の事例紹介



発ガン予防 などに役立つ フェルラ酸

その他にも・・・

梅酒製造企業からの梅酒の濁りについて相談を受けたことをきっかけに、梅酒を原料とした、まるでやがでフルーティーな香味をもち「梅フリン」や、実質・建具の原料にシックハウス(室内空気汚染)がおりこける住宅建築用の「接着剤」をつくる技術の開発も進んでいます。

また、さまざまな分野での技術開発が続いています。

・抗真菌剤(食品に使用可能) 等

・発汗調節(収穫後のたまねぎの発芽を抑制)

・抗菌剤(食品に使用可能) 等

「センチター」では、平成13年、米ぬかからフェルラ酸という物質を安価に製造する技術を開発しました。特許取得。その後の研究でフェルラ酸を原料に次のような効能がある物質を開発しています(すべて特許出願中)。今後さらに研究・検証を進め、早期に製品化されることを期待しています。

・大腸ガン予防

・血糖値降下作用(糖尿病治療)

・紫外線吸収(皮膚ガンの予防)

・化粧品原料、プラスチックの劣化防止

感動体験！和歌山の遊び方

和歌山の大自然と遊ぶ、技を知る旅の楽しみ方がひとつ増えました

観光客が旅先でその地ならではの様々な体験を楽しむ「体験型観光」。その鍵をにぎるのは、各地域で体験メニューを提供する地元の人たち。昨年7月、県の呼びかけで、紀南地域の農林水産業や観光業、まちおこしに携わる人たちが「わかやま観光オプションメニュー創造会議」を立ち上げ、様々な取り組みを行ってきました。11月には実際に16の体験メニューを用意して県内外の一般の人が参加するモニターツアーを実施。「楽しい」「また参加したい」と、大好評でした。

地元の人とのふれあいを通して未知の知識や技を発見・体験する新しい観光スタイルを創って、各地で情熱をかたむける皆さんにお話をお伺いしました。

和歌山の「人」 これはすばらしい観光資源です

刀根 浩さん
海南市・わかやま観光オプションメニュー
創造会議アドバイザー



私は体験型観光というのは、人の営み、技術に対する個人の誇りやこだわりをその地で体験してもらいたいと思っています。例えば、今までは観光果樹園で果物を収穫するだけでしたが、私たちが進めている体験型観光では、その木を育てる過程を体験してもらう。果物の収穫には木を育てていく作業が一番大切なわけで、農家の人にはそこに色々な技や誇りがあるわけです。ですから、地域の人と交流して技や誇りを体験するところに感動があると思います。しかも、和歌山の人は温かいですから、参加した人は必ず満足してもらえようと思います。

この体験型観光には、各体験ごとのインストラクターはもちろんです。各地域で体験企画を作ったり、調整役としてインストラクターと観光客などの間に立つ地域コーディネーターが不可欠です。この先、こうした人をいかに育てていくかが重要です。



自分の作品を見せ合う参加者。互いにほめ合い、にぎやかな品評会となる。「柄が出るとき、ときどきわくわくしますね。」「自分でやるのは楽しい。」「今度はまた違う柄に挑戦したいな。」「もっとやりたい。また来ますよ。」

地域おこしにと 始めたのですが・・・

林 裕子さん
日置町



藍染めを指導する林さん

2年前の南紀熊野体験博の時に、地域おこしにとみんなで藍染めを始めたんです。それから希望者を受け入れてきたのですが、せっかくなので、もともといるんだからきちんとインストラクターとしての知識を得たいと思うようになりました。丁度その時、県が主催する和歌山ツーリズム大学※の募集があったので、すぐに参加しました。お客さんのもてなし方などに非常に参考になりましたし、卒業後は卒業生でネットワークをつくって活動しています。知識を伝えるだけではなく、人と人がふれ合う温かさを大事にしたいと思っています。やっぱり、いただいたお金以上の満足や思い出を持って帰ってもらいたいからです。

※和歌山ツーリズム大学 現地で体験を指導するインストラクターや体験プログラムを企画・調整する地域コーディネーターを養成する講座。プログラムの進め方や技術の伝え方などを具体的に学び、各地域での取り組みの推進役の養成をめざします。

和歌山ツーリズム大学 起業家育成塾 受講生募集

農家レストランや直売所を拠点とした体験プログラム作りや、地域おこしとしての体験型観光で起業を考えている人を対象とした講座です。

日時 2月15日 13～17時
場所 和歌山ビッグ愛 (和歌山市)
定員 150人 (先着順)
費用 無料
申込 ハガキ、FAX、Eメールに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、2月8日までに和歌山ツーリズム大学事務局〒640-8249和歌山市雑賀屋町36雑賀屋町ビジネスパーク110号、FAX073(421)3688、Eメール hirok@crest.ocn.ne.jp
問い合わせ 和歌山ツーリズム大学事務局
☎073(421)7346
県庁観光交流課 ☎073(441)2787



ゆずコンニャクづくり



他にはない、「ここだけの体験です」

脇口 睦也さん 那智湯町
私の先祖は代々漁師や魚屋。仲買ですつと勝浦でマグロに関わってきた。私も仲買をしています。勝浦漁港は生マグロの水揚げ日本一。大きなマグロがずらりと並ぶ様子は壮観ですよ。マグロを並べたり、重さを計ったり、セリを見たり・・・普通の人は知らないことを体験して、マグロの種類やおいしいマグロの見分け方を覚えられますし、楽しいと思いますよ。普通は見学だけで、実際に体験できる場所は無いですからね。ここではない、ここだけの体験です。ただ、朝早起きしてもらわなくてはいいけませんけど、その価値はあると思いますよ。



次々に水揚げされ、あっという間に足の踏み場もなく、なるほどのマグロが並ぶ。「これがピンナガマグロ。これがメバチマグロ。」「ここを見て。この色のマグロが良かった。仲買人はここで分かる。経験だね。」「おいしい!!味が違うわ」



竹炭づくり



押し花づくり



熊野古道散策



陶芸体験



森林整備体験



農家体験・手打ちうどんづくり



源」を活用するものです。また、地域での経済効果が期待されるうえに、満足した参加者が二度三度と訪れて地域の内外での交流が拡大していくなど、地域の活性化につながります。さらに、体験メニューの中には森林整備体験や漁業体験、自然観察など、環境学習や社会学習にも適した内容が多く、子どもたちの体験学習や教育旅行などの場としても活用できます。県の積極的なPRを受けて旅行会社も関心をもっており、中には社員を体験メニューに参加させる会社もあるなど、手応えは充分です。

県では体験型観光の推進を図るため、地元の人たちと体験メニューの内容を考えた、より多くの人に和歌山に來てもらえるような仕組みづくりを注いでいます。また、キャンペーンやウオーキングイベントなどを積極的に展開することで県内外からの観光客の誘致や、外国人観光客を視野にいたった国際観光の推進など、総合的に県の観光振興をめざしています。

問い合わせ 県庁観光交流課 ☎073(441)2787

おしらせ

時 間 日・時間 場 場所・会場 定 定員 対 対象・資格 費 費用
申 申込・応募方法 問 お問い合わせ 抽 希望者多数の場合は抽選

県庁・県教育委員会へのお問い合わせ
〒640-8585 (県庁専用郵便番号、住所記入不要) ☎073(432)4111

「県民の友」を掲載している和歌山県のインターネットホームページは
<http://www.wakayama.go.jp/>

2002.1月

月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



2002.2月

月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

募集

初級障害者スポーツ指導員養成講習会

時 2月23・24日・3月9・10日
場 県子ども・障害者相談センター(和歌山市)
対 18歳以上の人 30人
申 受講申込書で2月1～8日に県身体障害者スポーツ協会
問 申込先 ☎073(445)7314、FAX 073(446)0036

犬のしつけ方教室

時 講義Ⅱ 1月23日、実技Ⅱ 2月6日
場 県動物愛護センター(野上町)
対 県内在住で犬の制御ができる成人(家族の同伴可) 20組(先着順) ※実技のみの受講不可
申 1月9～23日に会場
問 県動物愛護センター ☎073(489)6500

県立自然博物館談話会

テーマ 和歌山の野生ザル
時 2月11日 13時

場 県立自然博物館(海南市) 中学生・大人 60人(抽)
申 往復ハガキで参加希望者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、2月4日までに県立自然博物館 〒642-0001 海南市船尾370-1
問 申込先 ☎073(483)1777

市町村合併をともに考えるシンポジウム
時 2月9日 13時30分
場 那智勝浦町体育文化会館 定 400人(先着順)
申 ハガキ、FAX、Eメールで住所、氏名、年齢、職業、電話番号、意見等を記入し、2月1日までに県庁市町村課合併推進室 FAX 073(423)2427、Eメール sishoson-baie@office.wakayama.go.jp
問 申込先

「笑顔 元気 発信 変わる農業」シンポジウム
テーマ 地産地消による地域の活性化
時 1月30日 12時45分～16時
場 かつらぎ総合文化会館(かつらぎ町)

らぎ町
定 700人(先着順)
問 伊都振興局農業改良普及センター ☎0736(34)1700

エコ農業推進フォーラム～農業とリサイクル～
時 2月28日 13時
場 和歌山ビッグ愛(和歌山市)
定 200人(先着順)
申 ハガキ又はFAXに住所、氏名、職業を記入し、2月20日までに県庁果樹園芸課 FAX 073(441)2909
問 県庁果樹園芸課

病気の子どもを地域で支えるシンポジウム
テーマ 病気の子どもが地域で安心して暮らせるように
講演 「種まく子どもたちのそばで」佐藤律子氏
時 2月11日 13時
場 プラザホープ(和歌山市)
申 1月28日までに県子ども保健福祉相談センター ☎073(445)0520、FAX 073(445)0603
※一時保育あり
問 申込先

子育て応援講座
テーマ 成長する子どもから学ぶ子育てとジエナダー
講師 室みどり氏、佐藤律子氏、伊奈令子氏
時 1月19・26日・2月2日
場 県男女共生社会推進センターりいぶる(和歌山ビッグ愛)
定 30人(先着順)
申 電話又はFAX、Eメールに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、1月16日までに会場 〒640-8319 和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛9階 ☎073(435)5245、FAX 073(435)5247、Eメール e0315012@office.wakayama.go.jp
※一時保育申込は1月11日まで
問 申込先

ホタルの看板イラスト
テーマ「ホタルをとらないように」「ホタルを大切に、環境も」「私たちの河川にホタルの飛来を」「ホタルと共に環境を考えよう」など
対 県内在住の高校生以下
規格 8つ切り又は4つ切り画用紙にクレヨン、水彩絵の具、ポスターカラーを使用すること
賞 最優秀賞1人(副賞・図書券1万円分)、優秀賞10人(副賞・図書券3千円分)
申 3月1日までに海草振興局健康福祉部衛生環境課「地域・ひと・まちづくり調整事業実行委員会」 〒642-0022 海南市大野中939
問 申込先 ☎073(482)0600

農林水産省 食料品消費モニター
任期 平成14年4月から1年間
対 和歌山市及びその周辺地域在住者(他の官公庁モニター予定者を除く) 20人(選考)
申 ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、家族構成を記入し、2月8日までに近畿農政局消費生活課 〒602-8054 京都市上京区西洞院通下長者町下ル
問 申込先 ☎075(451)9161

環境省 環境モニター
任期 平成14年4月から2年間
対 県内在住の20歳以上の人(公務員除く) 6人
申 ハガキに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記入し、1月18日までに県庁環境生活総務課
問 県庁環境生活総務課

公正取引委員会 消費者モニター
任期 平成14年4月から1年間
対 県内在住の20歳以上の消費者 10人(選考)
申 ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、職業、各種モニター経験の有無、家族構成、最寄り駅(最寄り駅までの所要時間)、応募理由(100字程度)を記入し、1

同和連載

心の目

この連載は、県同和委員会が毎年募集する同和運動啓発作文の入選作品を掲載しています。子どもたちがそれぞれの生活の中で素直に見つめた「人権」へのまなざし。私たち大人への呼びかけです。
(平成12年度入選作品)

川辺町 大成中学校 1年 大橋 朋美

私はテレビで盲導犬を何度か見たことがあります。そのたびに思いました。「かっこいい犬だなあ。」と。だが、そのように思うだけで盲導犬という犬の本質を私はほんの一部分しか見ていませんでした。盲導犬というのはペットではなく人のために働く犬です。目の不自由な人の「目」のかわりをつとめる犬なのです。目が不自由だからといって、私たちと違うというわけではありません。みんな同じ人間なのです。なのに、「目が見えないくせに外なんか出歩くな」「さっさと歩け、じやまするな。」などと差別する言葉を言う人をテレビで見たことがあります。私はこれは絶対間違っていると思いました。「犬といっしょでは入れません。」という言葉に「すみません。」と月7日～2月8日に公正取引委員会近畿中国四国事務所取引課 〒540-0008(専用郵便番号)大阪合同庁舎第4号館
問 申込先 ☎06(6941)2175

放送大学学生
4月入学生を募集。入学試験はありません
種類 ①全科履修生Ⅱ 大学卒業(学士)(教養)をめざす②選科履修生Ⅱ 1年間在学③科目履修生Ⅱ 1学期間(6カ月) 在学④大学院生(修士科目目生)
対 ①18歳以上②③15歳以上④募集要項を参照してください

東京学生寮入寮者
新宿駅から京王線で約35分 一人部屋
対 東京近辺の4年制大学(原則として昼間の部の学生)に入学予定及び現在在学中の男子で保護者が県内在住の人 若干名
申 ①1月15～2月22日②3月1

和歌浦フィッシュリーナ係留艇等
ヨット5艇、船外機3隻を募集
申 1月7～21日に和歌浦シーサイド ☎073(446)3305
問 県庁漁港課 又は申込先

放送大学和歌山学習センター
☎073(431)0360

和歌浦フィッシュリーナ係留艇等
ヨット5艇、船外機3隻を募集
申 1月7～21日に和歌浦シーサイド ☎073(446)3305
問 県庁漁港課 又は申込先

ご意見を募集します

県は、めざす政策の方向を指標で表す「和歌山県ベンチマーク(仮称)」の策定に取り組んでいます。指標の選定について意見を募集。ベンチマーク案は県ホームページをご覧ください。どうか、ご請求ください。

対 県内在住・在勤の人
申 1月31日までに県庁政策審議室
問 県庁政策審議室

深くわかりました。盲導犬は、その人の「目」なのです。最近「視覚障害者のために、積極的に外出ができるように」という活動が盛んになっているという記事を読みました。視覚障害のある人たちがとって外出するということは、そうとうな勇気のいることだと思います。それは、交通に対する恐怖、それにも増して彼らを見て心を傷つける人々に対する恐怖があるのではないのでしょうか。そのためにボランティアの人たちや行政が、不便さや恐怖をとり除いていこうとしているのです。これは、とてもすばらしいことだと思います。こういう活動をもっと増やしていければいいと思います。そして、視覚障害者の「目」になるということ、周囲の人たちが積極的に心がけられたらと思います。いろいろな人々との出会いの場をつくることによって、特別な「目」を向けるのではなく、「心の目」と「澄みきった目」でお互いに助け合っていく社会にしていくのが私たちの世代の役割だと思っています。私は将来こういう人たちが気軽にせう気軽に入れる店を作りたいと思います。これも私たちの役目だと思います。

～15日に必要書類を(財)県奨学会東京学生寮 〒182-0016 東京都調布市佐須町3-16-2へ郵送
面接 ①2月23日②3月16日に県民文化会館(和歌山市)
費 入寮金5万円、寮費月額(食費含む) 46,500円(予定)
問 県教育委員会総務課、東京学生寮 ☎0424(82)2390

紀南青少年国際交流セミナー

ラテンアメリカからの留学生等と交流しよう

時・場 1月26日Ⅱ佐野会館(新宮市)、1月27日Ⅱ熊野古道大門坂(那智勝浦町)

対 県内の高校生又は16～18歳で2日間参加可能な人

定 20人 **(抽)**
費 500円

申 ハガキ又はFAXに住所、氏名、年齢、電話番号、高校生は高校名・学年を記入し、1月18日までに(財)県国際交流協会〒640

8319和歌山市手平2-1-2和歌山ビッグ愛8階 FAX 073(43)5243
問 申込先 ☎073(43)5240

応急危険度判定新規・更新講習会
地震により被災した建築物の危険度を応急的に判定する技術者を養成

時・場 2月14、21日Ⅱ県民文化会館(和歌山市)、2月19日Ⅱシテイプラザホテル(田辺市) 13時

対 県内在住・在勤の一級・二級建築士、木造建築士、県市町村の建築技術職員

定 各会場100人(先着順)

申込用紙配布 1月7～31日に県庁建築課、各振興局建設部建築課(海草除く)

申 1月31日までに県庁建築課
問 県庁建築課



特定疾患医療受給者証の継続申請はお早めに

有効期限が3月31日までの特定疾患医療受給者証をお持ちの方で、引き続き治療を受ける必要のある方は、住所地の保健所で継続申請を行ってください。4月30日までに継続申請を行わなかった場合は、公費負担を受けられない期間が生じますのでご注意ください。※治療・転症等

により継続の必要のない方は、保健所までご連絡ください

問 和歌山市保健所、各県立保健所、県庁健康対策課

子育てサポートルーム

和歌山乳児院に体験入所し、子育ての悩み相談ができます

対 3歳未満の乳幼児と保護者

費 無料(飲食代は自己負担)

問 県庁子育て推進課

暴力団追放県民・市民大会

講演 小田啓二氏(日本ガーディアン・エンジェル理事長)

時 2月8日 13時30分

場 県民文化会館(和歌山市)
問 県庁県民生活課



福祉職場就職相談会

時 ①1月25日 11時

②1月26日 13時30分

場 ①和歌山ターミナルホテル(和歌山市) ②田辺市民総合センター(田辺市)

問 ①県社会福祉協議会 ☎073(43)5211 ②田辺市社会福祉協議会 ☎0739(26)4918

児童手当の手続きをお忘れなく

児童手当は義務教育就学前の児童を養育している方に支給されます。※所得制限あり

問 県庁子育て推進課 各市町村役場

雇用支援制度説明会

内容 雇用支援制度、助成金制度等について

時・場 2月6日Ⅱ岩出町商工会

2月7日Ⅱ橋本商工会館(橋本市)、2月12日Ⅱ和歌山商工会議所(和歌山市)、2月13日Ⅱ海南商工会議所(海南市)、2月14日Ⅱ御坊商工会議所(御坊市)

各13時30分

中小企業事業主

定 各100人程度

申・問 県庁雇用推進室

丸正百貨店発行商品券の供託金の払渡手続について

平成13年7月13日までに還付手続を済ませた方に近畿財務局から手続に必要な書類が送付されますので、請求をお済ませください

受付 和歌山地方方法務局(和歌山市) ※混雑しますので郵送による手続にご協力ください

問 和歌山地方方法務局 ☎073(42)5131

農業共済事業

風水害、寒害等の自然災害や火災、病虫害等による損失を補償

種類	対象
農作物共済	米
果樹共済	温州みかん、梅、桃、柿等
家畜共済	乳牛、肉牛
園芸施設共済	ガラス温室、プラスチックハウス等
農機具共済	トラクター、コンバイン等の農機具

問 県庁農業振興課、北部農業共済組合 ☎0736(73)6724、中部農業共済組合 ☎0737(63)5121、南部農業共済組合 ☎0739(22)0704

愛の献血にご協力を

1・2月は献血者数が少ない月です。献血にご協力ください。はたちの献血キャンペーン実施中!



献血場所 和歌山駅前献血ルーム(和歌山市)

受付 成分献血Ⅱ 10～12時、14～17時、全血献血Ⅱ 10～13時、14～17時45分(1月1・2日は休み)

※移動採血車の献血場所は県ホームページで案内しています

問 県庁業務課、赤十字血液センター ☎073(43)6613

試験

(社)県福祉事業団(障害児者施設看護婦(士))

時 2月17日

場 和歌山ビッグ愛(和歌山市)

対 看護婦(士) 有資格者 4人

勤務予定場所 南紀福祉センター(上富田町)

申 2月8日までに福祉事業団事務局

問 申込先 ☎073(43)5234

測量士・測量士補

時 5月19日

願書配布 1月15日から県庁用地対策室、各振興局建設部

受付 2月1～28日に国土交通省国土地理院総務部総務課 〒305-0811茨城県つくば市北郷1

問 県庁用地対策室

県立高等学校定時制・通信制課程

〔定時制〕紀の川Ⅱ単位制・普通科(昼・夜、粉河Ⅱ普通科(夜、青陵Ⅱ単位制・普通科(昼・夜、情報会計科(夜、和歌山第二工業Ⅱ機械科・電気科・建築科(夜、海南Ⅱ普通科(夜、耐久Ⅱ普通科(夜、日高Ⅱ普通科(夜、南紀Ⅱ単位制・普通科(夜、南紀周参見分校Ⅱ普通科(夜、新宮Ⅱ普通科(夜

〔通信制〕紀の川Ⅱ普通科、陵雲Ⅱ普通科

出願受付【推薦】 紀の川(定時制・普通科、青陵(普通科・情報会計科、和歌山第二工業(機械科・電気科・建築科) Ⅱ2月7・8日【一般】定時制Ⅱ2月26～28日正午まで、通信制Ⅱ3月1～30日正午まで

※学力検査日、成人特別措置、奨学金の貸与や授業料減免など詳しくはお問い合わせください

問 各学校、県教育委員会学校教育課

県立高等技術専門学校

時 2月5日 9時30分

対 中学・高校の卒業生(平成13年度卒業予定者を含む) 又は同等以上の学力を有すると認められる人で30歳以下の人。ただし、新宮校は年齢問わず

●和歌山高等技術専門学校 ☎073(47)1253

中卒デザイン木工科12人、高卒理容科12人、機械電子工学科7人、建築工学科8人

●田辺高等技術専門学校 ☎0739(22)2259

中卒塑性工芸科20人、高卒自動車工学科若干名

●新宮高等技術専門学校 ☎0735(31)7329

中卒建築科20人、高卒溶接技術科15人

願書配布 各高等技術専門学校、最寄りのハローワーク

申 1月18～29日に卒業見込者は

ご存じですか こんな制度

●自動車事故による重度後遺障害者の家族に対する介護料

自動車事故により脳、脊髄又は胸部腹部臓器を損傷し、常時又は随時介護を必要とする重度後遺障害者の家族に介護料を支給

●交通遺児家庭貸付制度

自動車事故が原因で死亡した方又は重度の後遺障害が残った方の中学校卒業前の遺児に対する貸付制度

問 自動車事故対策センター和歌山支所 ☎073(43)7337

冬も元気に! 青少年の家

ドンとこい和太鼓(初心者講習)

時 2月9～10日(1泊2日)

場 紀北青少年の家

対 県内在住の小学5年～大人 25人 **(抽)**

費 2,400～3,000円

申 電話又はハガキ、FAXに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、1月25日までに紀北青少年の家

スキューバダイビング

初心者向け。プール講習を実施

時 2月9～10日(1泊2日)

場 白崎青少年の家

対 県内在住の中学生～大人 20人 **(抽)**

費 9,780～13,350円

申 電話又はハガキ、FAXに住所、氏名、年齢(学年)、電話番号を記入し、1月25日までに白崎青少年の家

こおどフェスタ(冬祭り)

氷彫刻、マグロ解体・即売、千人鍋ふるまい、フリーマーケット、バンド演奏など

時 2月10日 10～16時

場 紀北青少年の家

※前日から宿泊できます

※イベントスタッフ募集

銅版版画(エッチング)に挑戦しよう

時 2月23～24日(1泊2日)

場 紀北青少年の家

対 県内在住の小学4年～大人 40人 **(抽)**

費 3,500～4,000円

申 2月12日までに電話又はFAXで紀北青少年の家

仲間と卒業旅行

チェックポイントを通過して青少年の家まで行こう

場 ①紀北青少年の家②白崎青少年の家

③潮岬青少年の家

時 ①～③3月9～10日(1泊2日)

対 県内在住小学6年生3～5人のグループ①～③各10組 **(抽)**

費 一人①②3,500円③2,800円

申 ①～③ともに電話又はハガキ、FAXにグループ全員の住所、氏名、年齢、学校名、電話番号、保護者名を記入し、2月15日までに各青少年の家

爆裂トーク!

大人の言い分・子どもの言い分

テーマ どうして～?ここが分からない!?

時 3月17日 13時30分～

場 和歌山市男女共生推進センター(和歌山市あいあいセンター)

対 大人チーム=県内在住の30歳以上15人、子どもチーム=県内在住の中学～高校生年代15人(選考)

申 申込用紙又はハガキ、Eメールに住所、氏名、年齢、学年又は職業、性別、電話番号、社会活動歴(大人のみ記入。なくても可)、テーマについての意見を記入し、2月20日までに県庁青少年課

※傍聴は申込不要

申込先・問

●県庁青少年課 ☎073(441)2500、FAX073(441)2501

Eメール e0314001@office.wakayama.go.jp

●紀北青少年の家 〒649-7112 かつらぎ町中飯降1317-3、☎0736(22)5530、FAX0736(22)5531 ●白崎青少年の家 〒649-1123 由良町大引961-1、☎0738(65)2351、FAX0736(65)2352 ●潮岬青少年の家 〒649-3502 串本町潮岬669、☎0735(62)6045、FAX0735(62)0182

催し

県民文化会館 ☎073 (436) 1331
 レニングラード国立バレエ「白鳥の湖」 2月1日
 S席11,000円、A席9,000円、B席7,000円、C席5,000円

県立博物館 ☎073 (436) 8670
 信仰と美術
 ー国立博物館・美術館巡回展ー
 1月12日～2月11日

土偶 (山形・杉沢遺跡出土)
 奈良国立博物館蔵



県植物公園緑花センター ☎0736 (62) 4029
 花の水彩画教室※ スケッチ 1月27日
 仕上げ 2月3日
 和紙ちぎり絵教室※ 2月17日
 早春の盆栽展 2月9～11日
 洋ラン展 2月9～11日
 ※は事前申込必要

県立紀伊風土記の丘 ☎073 (471) 6123
 子ども歴史クラブ (小学生対象) 1月12日
 竪穴住居で古代の食事
 (木の実を使って縄文クッキー等を作ります) 1月13日
 昔のくらし体験学習
 (学校団体等の社会見学のみ受付) 1月15日～3月15日
 企画展「昔のくらし」 3月21日まで

お気軽に

交通事故相談 ☎073 (441) 2359
【常設相談】 月～金曜日 (東牟婁振興局 ☎0735 (22) 8551は水曜日を除く)
場所 県庁交通事故相談所、東牟婁振興局
【弁護士による相談】 ●県庁交通事故相談所 1月21日、2月4日 受付 13～14時 ●東牟婁振興局 1月18日、2月8日 受付 正午まで (電話予約必要)
【巡回相談】 ●伊都振興局 1月23日 ●西牟婁振興局 2月13日 受付 11～15時

県民相談 ☎073 (441) 2356
【常設相談】 月～金曜日 **場所** 県庁県民相談室
【弁護士による相談】 ①1月25日 ②2月8日
場所 県庁県民相談室
電話予約受付 (先着20人) ①1月15日～②1月28日～
【移動相談】 ①1月22日貴志川町保健福祉センター
 ②2月5日海南市住民センター③2月15日すさみ町住民福祉会館 **電話予約受付 (先着10人)** ①那賀振興局 ☎0736 (61) 0005 ②海草振興局 ☎073 (441) 3352 ③西牟婁振興局 ☎0739 (26) 7906

高齢者相談 ☎073 (435) 5212
【常設相談】 月～金曜日
【専門相談】 医療、リハビリ、保険・年金、税金、栄養、住宅、法律、健康※日時はお問い合わせください。
【弁護士による相談】 1月18日、2月15日 (電話予約必要)
場所 県高齢者総合相談センター (和歌山ビッグ愛7階)

ひとり親家庭相談
【常設相談】 月～金曜日 **場所** 各振興局健康推進課
【弁護士による相談】 最寄りの振興局健康推進課へお問い合わせください。
【問い合わせ】 海草 ☎073 (482) 0600 那賀 ☎0736 (61) 0049 伊都 ☎0736 (42) 3210 有田 ☎0737 (64) 1294 日高 ☎0738 (22) 3481 西牟婁 ☎0739 (26) 7933 東牟婁 ☎0735 (21) 9610 古座支所 ☎0735 (72) 0136



平成13年は、何かと暗い話題の多い年でしたが、12月に皇太子様ご一家に待望のお子さまが誕生され、明るさの兆しを見た年の瀬でした。今、県は、『緑の雇用事業』をはじめ和歌山「発」や「初」の事業に力を入れています。新年はさらに新年度県民の皆様と共に共感していただける事業にもっともっと取り組んでいきます。県民の友も県庁「発」のホットな話題をお届けしていきますのでよろしく願います。

ちなみに個人的に切実な「はつ」は「髪」です…。新年が皆様に健やかな年でありますように。(良)

県道高野口野上線 天野トンネル
 開通 (かつらぎ町)

わがやま..
北南NEWS

わがやま..
北南NEWS

2002年ワールドカップサッカー
デンマークチームが和歌山でキャンプ!

2002年ワールドカップサッカー大会に出場するデンマークチームが、本県で準備キャンプをすることが内定し、昨年12月3日、発表記者会見が開かれました。

その席上、和歌山に決定した理由を聞かれたデンマークサッカー協会代表 スティーン・ダラップさんは、「キャンプ地で大事なのは、選手が練習以外の時間をいかにリラックスして、楽しく過ごせるかということ。初めて和歌山を視察した時は、まさに“パラダイス”という印象で、自然環境も施設も交通アクセスも素晴らしいし、何より迎えてくれる人の温かさを感じた。ここなら家族のような気持ちで過ごせると思う。」と話しました。

同チームは韓国での予選を突破して決勝トーナメントに進めば、再び本県でキャンプをする予定です。私たち和歌山県民としても、日本とともにデンマークも応援したいですね。

問い合わせ 県教育委員会スポーツ健康課 ☎073 (441) 3700



わがやま..
北南NEWS

ゆかい!
愉快!!
湯快!?

みちしお きさく、あやめ、美山、龍神、丹生ヤマセミ、鶴の湯、梅香、千里浜、県内でも有数の温泉の宝庫・日高地方の温泉です。海山川と、麓に満喫できるこの9つの温泉が連綿し、日高地方の振興を図ろうと、各温泉地の代表が集まり、「ほのぼの日高、湯快な温泉協議会」を発足。共通入浴券や割引券の発行、温泉を利用した観光ルートづくりなど、訪れる人も迎える人も「湯快」な気分になれる多彩なメニューが計画されています。

問い合わせ 日高振興局地域行政課 ☎0738 (24) 2905

ほのぼの日高
“湯快な温泉協賛足

インターネットで
介護サービスを詳しく紹介!

<http://www.otasuke-kaigo.net>

おたすけ介護ネット

県では、県内の介護サービスを行う事業所・施設のサービス内容をインターネットで詳しく紹介するホームページ『おたすけ介護ネット』をつくりました。

その特長は、介護保険の利用者やその家族の方が、「食事」や「入浴」、「趣味・娯楽」、「利用する曜日」といった項目別に、自分が求めるサービスを提供している事業所・施設を検索できることです。ケアマネージャーがケアプランを作成する際にも役立ちます。

問い合わせ 県庁長寿社会推進課 ☎073 (441) 2527



今回は創立20周年の記念大会として、北海道根室の中学生を招いて熱いメッセージをいただくとともに、県民の皆さんといっしょに、楽しく北方領土問題を考えたいと思います。

お問い合わせのうえ、お気軽にご参加ください!

第1部 県民大会
第2部 『翼をください』『冬が来る前に』などで有名な「紙ふうせん」コンサート
第3部 北海道産品抽選会

日時 2月2日(土) 13時45分
場所 県民文化会館大ホール
問い合わせ 同事務局(県庁広報室内) ☎073 (44) 2030

北方領土返還要求運動
和歌山県民会議

創立20周年記念・第21回県民大会 (入場無料)



「紙ふうせん」

新春特別番組

木村知事と天童よしみさんが対談!



放送日時

テレビ (テレビ和歌山)

平成14年1月1日 (火) 11:00～11:30

平成14年1月3日 (木) 9:30～10:00 (再放送)

ラジオ (和歌山放送)

平成14年1月1日 (火) 9:15～9:30

タイトル

「元気印!」の二人が語る2002年和歌山の夢

木村知事と本県ゆかりの演歌歌手天童よしみさんが対談します。天童さんは今や押しも押されぬ演歌歌手の第一人者。その天童さんを迎え、お正月らしく明るくにぎやかに、和歌山の明日を二人が熱く語ります。

